

## ライフステージに沿った歯科保健活動



妊婦の方から 75 歳の方まで  
幅広い区民に対して・・・  
お口の健康診断と保健教育

- ・ マタニティ歯科健診 (協力歯科医療機関)
- ・ 親子の歯育てすくすくクラブ(10か月児/保健所)
- ・ ハッピーバースデイすくすく歯科健診  
(1歳1か月児/保健所)
- ・ 1歳6か月歯科健診 (保健所/協力医)
- ・ すくすく歯育て〔はそだて〕歯科健診  
(2歳児とその母親/協力歯科医療機関)
- ・ 3歳児歯科健診 (保健所/協力医)
- ・ 保育園、幼稚園の歯科健康診断 (嘱託歯科医)
- ・ 小・中学校の歯科健康診断 (学校歯科医)
- ・ 高校の歯科健康診断 (学校歯科医)
- ・ 成人歯科健診 (40歳、45歳、50歳、55歳、  
60歳、65歳、70歳の方/協力歯科医療機関)
- ・ 歯っピースマイル健口教室 (歯周病予防/保健所)
- ・ お口の健康を向上するための教室  
(65歳以上の方を対象/保健所)
- ・ 長寿歯科健診 (75歳の方/協力歯科医療機関)



葛飾区歯科医師連盟は、  
公益社団法人葛飾区歯科医師会および葛飾区  
学校歯科医会の会務遂行を円滑にするため、  
さらには、地域行政や地域選出の議員と意見  
交換を行い、区民の健康増進のために活動  
している政治団体です。



葛飾区在住 原則 65 歳以上のねたきり高齢者  
の方々への歯科診療[固定診療所と訪問診療]  
(平成2年8月開設)



同 障害児(者)のための歯科診療[母親教室]  
(昭和56年11月開設)

これらの事業は葛飾区歯科医師会の会員の  
協力医によって運営されています。  
葛飾区歯科医師会員 214 名・179 診療所  
(平成30年10月現在)

発行年月日：2018年12月1日

## 葛飾区歯科医師会 の会員が支える

## 歯と口からの健康

歯科医師会の取り組みとしておこなっている  
8020運動は、80歳になっても20本以上の歯を残  
して、口腔機能を維持しようという活動です。

このリーフレットは、  
医療や福祉、保健の行政で活躍  
されている方々へ、葛飾区歯科医師会の  
取り組みと、これからの口腔保健の紹介  
を目的としたものです。

## 葛飾区歯科医師連盟

\*\*\*連絡先\*\*\*

葛飾区歯科医師会館

〒125-0062 東京都葛飾区青戸 7-1-20

電話：03-3602-0648 E-mail:katshika@lily.ocn.ne.jp



### 「葛飾区学校歯科医会」の活動

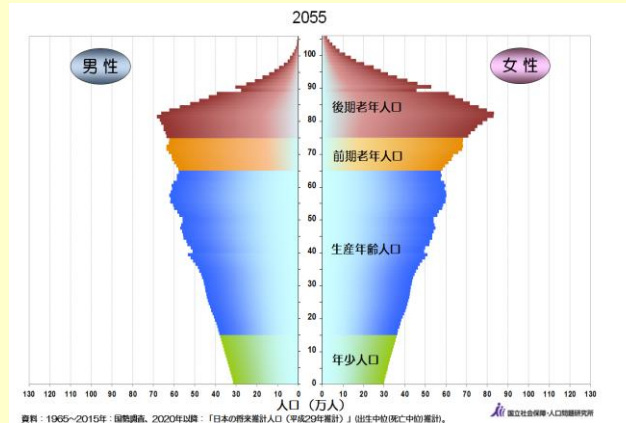
- ・ 公私立保育園・幼稚園、就学時、区立小学校・中学校、都立高校、特別支援学校（学級）、福祉施設など、学校歯科医・嘱託歯科医としての健康診断や保健教育・保健管理・組織活動
- ・ 指導者講習会（看護師・保育士・教職員対象）
- ・ よい歯の集い（歯の健康表彰）

### 「公衆衛生事業」と「地域医療」

- ・ 休日歯科応急診療
- ・ かかりつけ歯科医紹介事業
- ・ ねたきり高齢者の歯科診療  
(たんぽぽ歯科診療所)
- ・ 障害児（者）の歯科診療  
(ひまわり歯科診療所)
- ・ ファミリー歯みがき教室

現在、日本人の4人に1人が高齢期を迎えています。出生率は現在では1.4で、1990年以降は増減を繰り返しながら、緩やかな減少傾向を示しています。今後も高齢化は続き、人口減少と超高齢化の進行に歯止めはかかりそうにないと言われています。高齢者の口腔機能の低下に対し、あらためて向き合う時代の到来です。

よく噛むことは、消化・吸収を助け、むし歯や歯周病の予防につながります。そればかりでなく、脳の活性化、ストレス解消や肥満の防止、癌や老化の予防によい影響があり、口腔機能は心身の健康に深く関与しています。



超高齢化社会を迎え、歯科訪問診療が必要とされる時代に進んでいます。口は食べるだけでなく、生命や社会的生活を営むための根本的な役割を持っています。訪問診療によって高齢者の口腔環境を整え、口腔機能を充実させることは、とても大切なのです。

## 全身疾患と歯科医療(医科歯科連携)

### 高齢化⇒体の衰えや成人病の悪化 医療機関への受診と生活習慣

#### 口腔衛生と口腔機能の低下

口腔内は自浄作用といって、唾液の力で歯の表面や舌、粘膜に付いた汚れや細菌を洗い流し、清潔に保たれています。身体機能が衰えて唾液の分泌量が減っている高齢者の口腔内は、自浄作用が低下し様々な問題が起こります。

#### ドライマウス

口腔内の乾きが進行すると、う蝕や歯垢の増加、それによる強い口臭、舌表面のひび割れや痛みにより摂食障害までも引き起こします。原因は高齢化、薬の副作用、糖尿病、シェーグレン症候群、ストレス、口呼吸などです。

#### 歯根カリエス

加齢による歯肉退縮で起こる歯根カリエスは、歯科治療で問題となってきています。

#### 歯周病と全身疾患

糖尿病やリウマチになると、細菌に対する免疫力が低下し歯周病が悪化します。また、歯周病になると動脈硬化、心臓病や呼吸器疾患、糖尿病などになりやすくなります。

#### 嚥下障害

加齢により嚥下障害を引き起こす可能性が増加します。誤嚥性肺炎は生命を危険にさらします。

#### ビスフォスフォネート製剤の服用と口腔疾患

骨粗しょう症や癌の骨転移などの治療には有効ですが、歯科治療によって顎骨壊死が発生する場合があります。

#### ガン治療の術前・術後の口腔機能管理

#### 生活習慣病

食生活の欧米化によって様々な危険因子が増加しています。生活習慣を見直して、健康な生活を送りましょう。